

広報 おおの



大野の未来を考えて (中学生子供議会)

主な内容

	ページ
市長へのメッセージ……………	2
図書館のO A化……………	3
財政公表……………	4～5
税の申告……………	6
市民のページ……………	10～11
お知らせ……………	14～15

平成9年(1997年)

2月号

No.617

「市長へのメッセージ」まよまる

都市づくりや観光施設の充実を

幅広い分野に72通の提言

市では平成七年度に引き続き、「市長へのメッセージ」を昨年九月に募集しました。テーマは「力強い大野の実現について」で、寄せられたメッセージの数は七十二通。健康や福祉からまちづくりまで幅広い内容です。

◆ ◆ ◆
メッセージは十七歳から九十歳までと広い年齢層よりいただきました。特に四十歳代

から七十歳代の人が多くを占めています。東京や千葉をはじめ市外からも六通が寄せられました。

◆ ◆ ◆
駅前の景観整備や世界に誇れる文化のまちなど都市づくりに関するものが最も多く十六件。次いで大野屋や平家平など大野の歴史や自然を生かした観光の振興などに関するものが数多くありました。一部を紹介いたします。

住みたくなるまちづくりの参考に

市長 天谷光治

市の財政や市民の生活基盤の確立という難しいテーマにもかかわらず、いろいろなメッセージをいただきました。ありがとうございます。

◆ ◆ ◆
若者の定住策をはじめ人口を増加させようとする提言が多くあり、「力強い大野の実現」にはまず人口増が必要であるとの考えの表れだと感じています。ほかにも夢があふれるアイデア

◆ ◆ ◆
もあり、楽しく拝見させていただきました。

◆ ◆ ◆
可能なものは、議会や地元関係者と十分協議しながら、実現に向けて努力していきます。ほかの多くのご意見なども市政運営の参考となるものばかりです。

◆ ◆ ◆
今後とも、皆さんと共に子孫に誇れる郷土づくりを進めていきますので、よろしくお願いいたします。

現代に大野屋を再生

大野商工会議所青年部
会長 山田陽一さん



◆ ◆ ◆
昨年『そろばん武士道』が発刊され、講演会なども開かれて多くの市民の“進取の気象”も揺り起こされたのではないのでしょうか。

◆ ◆ ◆
そこで、幕末の大野屋のような情報の受発信の拠点として平成の大野屋を提言します。昼は大野の物産を販売し、夜は大野の地酒や料理を提供する田舎居酒屋として、ふれあう人々からの情報収集と大野のアピールを行います。

◆ ◆ ◆
満足のいく良い物・情報を提供すれば、必ず大野に人が訪れます。人は人とのふれあい（心）を求めるものです。

子供たちに 良い環境を

山腰里美さん（木落）



◆ ◆ ◆
これからの大野を担う子供たちに良い環境を作りたいと思います。雪や雨が降ると小さな子供たちは遊ぶ所がなくなってしまう。走り回れるような広場と幼児のための遊具やおもちゃのある室内施設があればいいですね。また子供や体の不自由な方が安心して通れる道路や危険の無い河川も必要だと思います。

◆ ◆ ◆
子供の住みやすい町であれば、若い人たちも大野に住みたいという気持ちになり、未来の大野を支える後継者も育つのではないのでしょうか。

私のメッセージ

◆ ◆ ◆
メッセージの中からいくつかを紹介しましょう。

- 住みやすい都市づくり
 - ・大規模分譲宅地開発。空き地空き家へ若者をあつせん。
 - ・駅前の景観整備を。
 - ・世界に誇れる文化の都市づくり。旧町名や昔の良さを残す。
- 魅力ある観光や物産で大野をアピール
 - ・大野屋と大野丸の再建。歴史上の人物の案内表示を。
 - ・飯降山の頂上まで階段を作る。富田大橋を桜の名所に。
 - 亀山を憩いの場に
 - ・植物園や遊園地にする。親水や景観に配慮して大きな滝を造る。大高跡地を市民公園に。
 - 快適な道路や河川を整備
 - ・歩行者や自転車に優しい道路を。電柱の地中化をする。
 - ・ホテルの住める河川改良。
 - 福祉、医療の充実
 - ・高齢者を対象にパブリック工場を建設。老後に安心できるまちづくり。
 - ・イベントなどに合わせて託児所を。
 - 産業の振興
 - ・木造建築技術者の養成施設の設置。
 - ・大野の特産を大型スーパーへ。
 - ・特徴のある企業誘致。
 - 水に関すること
 - ・木の本来に水源涵養を兼ねた親水公園を。ガラスのトンネルで地下水の見学施設。

元市長の川崎泰彦氏が逝去

56豪雪を乗り越え、教育の充実に努力

元大野市長の川崎泰彦氏が、1月2日午後10時20分、腸閉塞（へいそく）のため松岡町の福井医科大学病院で亡くなられました。享年は69歳。



川崎氏は県議を経て、昭和53年4月から昭和61年7月まで2期8年間大野市長を務められました。

在職中には56豪雪の克服や越美北線の存続など数多い功績を残され、特に保健センターや図書館の建設、有終南小学校をはじめとする各小学校と公立幼稚園の改築を進め、教育・福祉の充実に尽力されました。

謹んでごめい福をお祈り申し上げます。

カードで貸し出し

2月25日 図書館が変わる

市図書館の本の貸し出しや返却・検索が、いよいよ2月二十五日①からコンピュータで管理されます。図書館では、昨年からのOA化について準備を進めてきました。これで図書館がよりいっそう便利に利用できるようになります。

早めに発行の

申し込みを

これからは一枚の利用カードをカウンターに提示していただくだけで、本を借りることができるようになります。

利用カードは左下のようなプラスチック製のカードです。現在図書館では、カード発行の申し込みを受け付けています。希望される方は、早めにお願いたします。



欲しい情報は

画面にタッチで

書名や著者名はもちろん、本の一部分や全体の内容からもお目当ての本を簡単に探し出すことができるようになります。職員に尋ねていただくほか、自分で利用者端末機を使って探すこともできるようになります。端末機はカウンターの前に設置され、指で画面をタッチするだけの簡単な操作です。

出版されている全部の本の情報をコンピューターに取り入れることにより、図書館に

無い本の情報を得ることも可能になります。調べたいことがあったら、カウンターまでお問い合わせください。

本の予約が確実に

読みたい本が貸出中の場合や取り寄せているときでも、予約が確実にあります。目的の本が図書館に無い場合にも、これまで通りほかの図書館から借りるなどの方法により、ご希望にお答えいたします。気軽に声を掛けてください。

い。

開館以来十一年間、蔵書数、利用者数ともに増加してきました。今後もより楽しく、快適に利用できる図書館を目指していきます。

開館時間 火・土曜 午前10時～午後6時・日曜 午前9時～午後5時

休館日 月曜日・第一金曜日

・第三日曜日・祝日・年末年始

問合せ先 市図書館（☎65・5500）

裏

なまえ

大野太郎

- 図書をかざるときはこのカードが必要で、大切に扱ってください。
- カードを紛失・再発行の場合は実費をいただきます。

利用案内

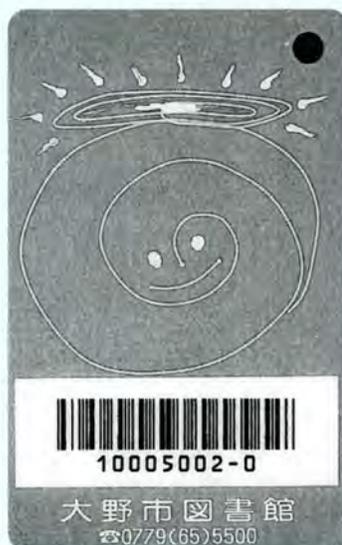
〔開館時間〕

火～土 午前10:00～午後6:00
日 午前9:00～午後5:00

〔休館日〕

- 毎週月曜日
- 毎月第3日曜日
- 国民の祝祭日
- 毎月第1金曜日（資料整理）

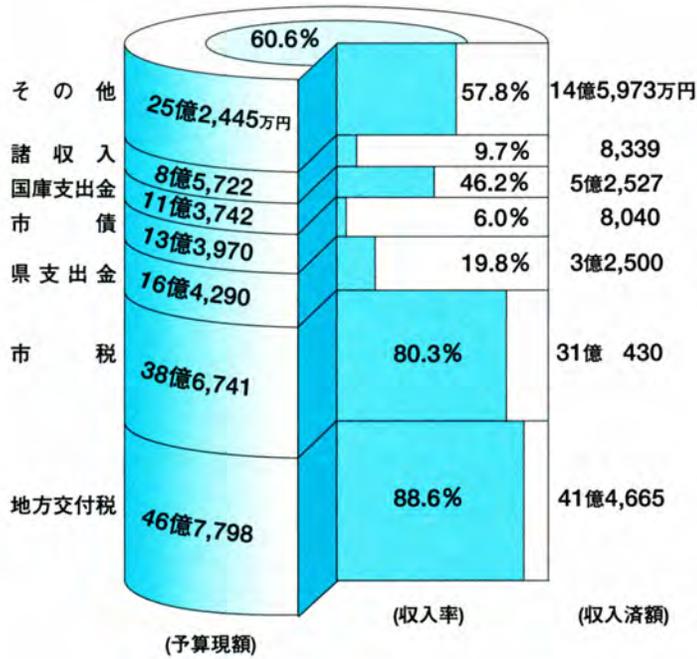
表



新しく発行する利用カード

平成8年12月末現在の

市の家計簿です



歳入

収入率 60.6%
 収入済額 97億2,474万円
 予算現額 160億4,708万円

一般会計

普通一般の歳入・歳出を經理する会
 計で、民生費、土木費、教育費など市
 の基本的な経費が計上されています。

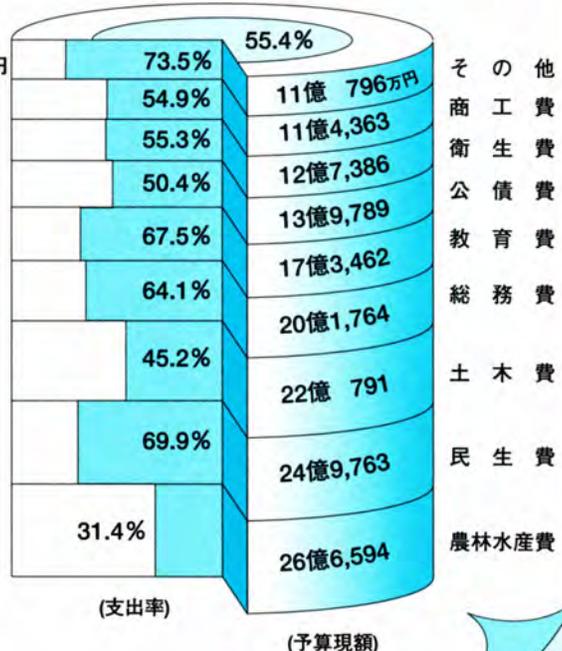
市の家計簿がどのようになっているのか、また私たちが納めた税金がどのように使われているのか知っていただくため、平成八年十二月末現在の財政状況をお知らせします。皆さんのご家庭の家計簿と同様に、市の台所事情をご覧ください。

主な建設事業

- 道路整備事業……………5億6,425万円
- 公社営畜産基地建設事業……………4億1,251万円
- 庁舎増築事業……………3億5,001万円
- 河川改良事業(単独)……………2億5,118万円
- 農村総合整備モデル事業……………2億1,826万円
- 青島工業団地造成事業……………2億1,709万円

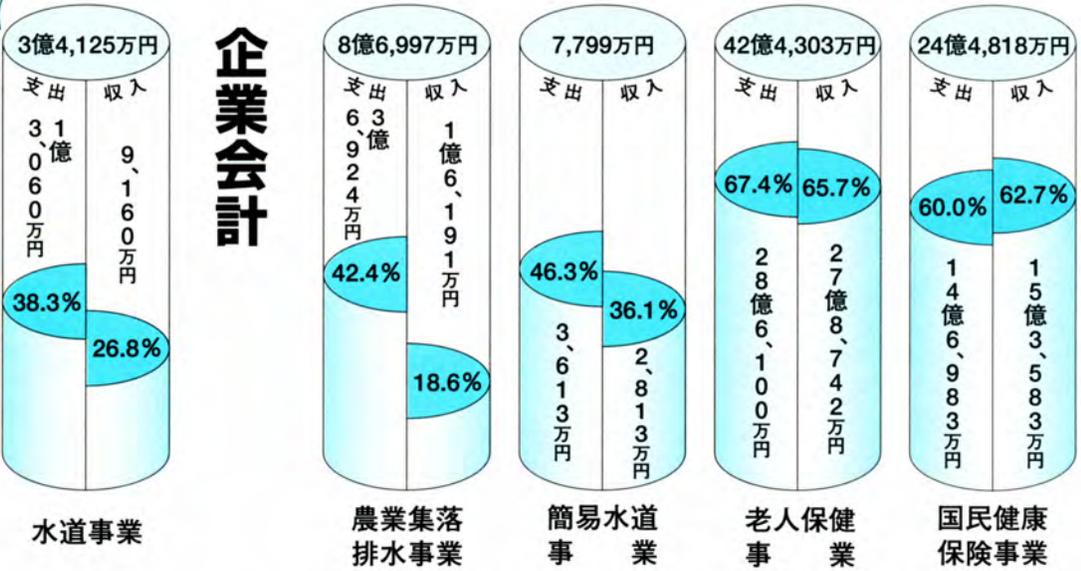
歳出

支出率 55.4%
 支出済額 88億9,582万円
 予算現額 160億4,708万円

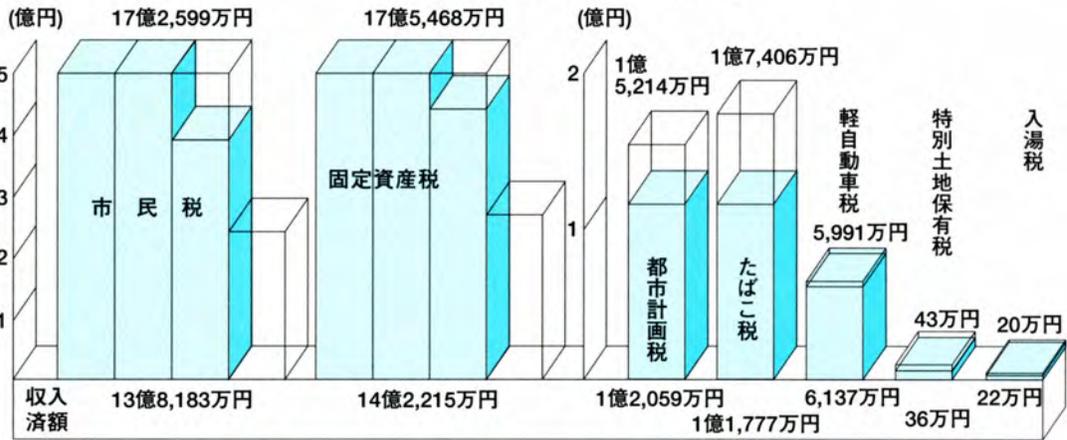


特別会計

市が特定の事業を行うときに、一般会計と区分して経理し、その特殊性を明らかにするため設けられています。



市税の収入状況



12月定例市議会

一般会計に4億一千万円余を追加
総額は百五十三億九千万円余りに

第二百八十八回定例市議会は、昨年の十二月五日から二十日まで開かれました。一般会計補正予算案・国民健康保険事業特別会計補正予算案など十三議案を審議し、全議案とも原案どおり可決・承認。最終日の二十日には中部縦貫自動車道大野―油坂間の早期基本計画画組み入れを求める意見書などを採択しました。

一般会計では、歳入・歳出にそれぞれ四億一千百八十八万八千円が追加され、予算総額は対前年度比八・〇%増の百五十三億九千二百八十九万四千円となりました。

主な歳出は次のとおりです。

- ◆ 総務費
 - ◆ 公共施設管理公社事業……………四千三百四十万円
 - ◆ 県防災行政無線整備事業……………一千七十万円
- ◆ 民生費
 - ◆ 重度心身障害者(児)医療無料化対策事業……………五百七十万円
 - ◆ 乳幼児医療費助成事業……………五百二十六万円
 - ◆ 民間保育措置費……………三百七十六万円
- ◆ 衛生費
 - ◆ 廃棄物減量等推進事業……………百九十三万円
- ◆ 農林水産業費
 - ◆ 県営土地改良事業……………三千九百一十万円
 - ◆ 農村基盤総合整備事業……………六百八十九万円
- ◆ 災害復旧費
 - ◆ 公共土木施設災害復旧事業……………一千五百九十三万円
- ◆ 土木費
 - ◆ 特定交通安全施設等整備事業……………三千三百七十九万円
 - ◆ 除雪経費……………四千五百万円

市県民税 所得税

申告

早めに済ませましょう

期限は**3月17日**

市県民税の申告日程表

月 日	曜日	会 場
26 2. 27 28	水 木 金	市 役 所
3. 3 4	月 火	下 庄 公 民 館
3. 5	水	庄林生活改善センター 南六呂師集落センター
3. 6	木	乾 側 公 民 館 小 山 公 民 館
3. 7	金	富 田 公 民 館 J A 大 野 市 富 田 支 所
3. 10 11	月 火	上 庄 公 民 館
3. 12	水	蔵 生 集 落 セ ン タ ー 木 本 集 落 セ ン タ ー
3. 13	木	阪 谷 公 民 館 J A 大 野 市 阪 谷 支 所
3. 14	金	五箇ふるさと自然の家
3. 14	金	市 役 所
3. 17	月	市 役 所

受付時間

午前9時～11時30分、午後1時～3時30分
ただし、5日・12日と14日の五箇ふるさと自然の家は午前11時30分まで。

今年も市県民税の申告と所得税の確定申告の時期になりました。申告の期間は、二月十七日(月)～三月十七日(月)です。申告に必要な書類や証明書は、あらかじめ用意し早めに申告を済ませてください。

市県民税

市県民税の申告日程は、左の表のとおりです。

申告用紙は二月中旬に区長さんを通じてお届けします。

同時に行政区ごとの詳しい申告日時や会場などお知らせします。混雑を避けるために、できるだけ指定された日に申告を済ませてください。

申告が必要な人

平成九年一月一日現在、大野市内に住民登録のあった人

または住んでいた人で、次の項目に該当する人が、申告の対象となります。

■ 昨年中に所得があった人
所得税の確定申告をする人や
給与所得者で給与以外の所得が無い人は除く

■ 給与所得以外に、地代・家賃・配当・退職金などの収入があった人
退職金は勤務先で分離課税された人を除く

忘れがちな所得

◆ パートやアルバイト収入
◆ 保険の勧誘や物品売買などの外交員報酬

◆ シルバー人材センターからの報酬
◆ 年金収入

申告に必要なもの

申告には次のものをご持参ください。

● 所得の計算に必要な書類
● 医療費、生命保険料、損害保険料などの領収書または支払証明書など
● 印鑑

問合せ先 市役所税務課市民
税係 ☎ 66・1111 内
線 423・424 まで

所得税

所得税の確定申告は、二月十七日から大野税務署などで受け付けをします。期間間近

は大変混雑しますので、早めに申告してください。
なお給与所得者や年金受給者の還付申告は、二月三日から受け付けをします。

確定申告が必要な人

■ 平成八年分の事業所得、不動産所得などの合計額が所得控除(基礎控除、配偶者控除、扶養控除など)の合計額を超える人

■ 給与所得者で①給与の年収が二十万円を超える人②二カ所以上から給与を受けた人③給与所得や退職所得以外の所得額が二十万円を超える人

■ 給与所得者で①住宅をローンなどで購入した人②多額の医療費を支払った人③災害や盗難にあった人など

納税相談

農業所得や営業所得の納税相談を、次のとおり実施します。時間は午前九時～正午、午後一時～四時です。

農業所得 【JA大野市本所】2月17日～21日【JA上庄】2月24日～26日

営業・その他所得 【大野税務署】2月17日～3月17日【大野市役所】2月26日・27日・28日・3月14日・17日

問合せ先 大野税務署 ☎ 66・2180 まで

スーパードッジボール大会



参加チーム募集

エキサイティング

スポーツ

情報

小学生を対象に市スーパードッジボール大会が開催されます。

日時 3月9日(日)午前8時30分～

会場 エキサイト広場

参加資格 大野市・郡内の小学生(3年生以上)

チーム編成 各チーム監督1人(成人)、選手7人、補欠選手5人以内

※監督は2チーム以上の掛け持ちはできない

競技方法 レベル別リーグ・トーナメント戦▼AⅡ5・6年男子の部▼BⅡ3・4年男子の部▼CⅡ全学年混成の部

※女子だけのチームは、男女混成リーグに所属。男女混合リーグに、5・6年生男子は出場できない

申込方法 所定の申込用紙および保護者の承諾書、保険料(1人につき10円)を添え、2月21日(金)までに市教育委員会スポーツ課まで

●シヨートテニスとフィットネスの教室

パドミントンコートを使用したニュースポーツのシヨートテニス教室と、エアロビクスやダンベル体操を行うフィットネス教室を開きます。

〈シヨートテニス教室〉

日時 2月25日(火)・3月4日

(火)・11日(火)・18日(火)・24日

(日)計5回 午後7時～9時

場所 エキサイト広場一階アリーナ

対象 市内に住む一般男女

(高校生は保護者同伴の場合に限り可)

定員 20人

参加費 200円(傷害保険料として)

準備物 室内用シューズ

締切 2月16日(日)

シヨートテニス教室

日時 2月27日(水)・3月6日

(木)・13日(木)・20日(木)・27日

(金)計5回 午後7時30分～9時30分

場所 エキサイト広場二階小アリーナ・一階トレーニング室

対象 市内に住む一般男女

(高校生は保護者同伴の場合に限り可)

内容 エアロビクス・ダンベル体操・マシントレーニング

定員 50人

参加費 200円(傷害保険料として)

準備物 室内用シューズ

締切 2月16日(日)

申込・問合せ先 市エキサイト広場総合体育施設(☎66・1433)まで

※水曜日は休館日です

施設スポット

⑮大野地域職業訓練センター

大野地域職業訓練センターは、事業所で働いている人や地域住民の能力開発の拠点として、労働省、雇用促進事業団が建設し、大野市が管理・運営している施設です。昭和五十八年にオープンしました。

地域の企業や業種団体が実施する研修会、講習会、各種会議などの会場として利用できます。

センターには、約三十人が利用できる会議室と研修室、百六十平方メートルの実習室、六台の調理台を備えた調理室、二十五畳の和室、ビデオ映写装置や十六インチ映写機を備えた視聴覚室があります。

職業能力開発のための技能講座や、地域住民を対象とした教養講座も開設しています。

技能講座は、パソコンの入門コースや、資格取



得を目的にした人や中高年齢者を対象にしたワープロ講座など、時代の流れに応じた講座を行っています。毎回多数の応募があり、関心の高さがうかがえます。教養講座は和裁や洋裁、着付け、実用習字を行っています。

これらの講座の詳細は、四月に各家庭に配られる年間講座案内をご覧ください。

場所 中挟一丁目1601-1

利用時間 午前9時～午後9時30分

休所日 毎週月曜日、第三日曜日、祝日の翌日および年末年始

電話 65・6840

母子保健



身近なサービスは 保健センターで

母子保健法の改正により、四月一日から母子保健サービスが大きく変わります。これまで市内の母子保健サービスの大半は、大野保健所が行ってききました。これからは身近なサービスは、市保健センターが実施することになり、内容も一部変わります。

電話相談や訪問指導も

母子保健サービスとは、妊産婦や乳幼児の健診や予防接種、健康相談などを行うものです。

四月一日から、身近な母子保健サービスを市が実施することになりました。ここで具

体的なサービスについて、紹介します。

新生児・妊産婦の家庭を訪問

生後一カ月までの新生児の育児は、母親にとって母乳を出すための大切な時期であると同時に、最も不安を覚える時期でもあります。

そこで市の保健婦が第一子が生まれた家庭を訪問し、健康指導や相談に応じます。

妊婦健康診査・乳児健康診査

妊婦と乳児の健康診査を実施します。詳細については、決まり次第お知らせします。

育児相談会

離乳食を始める五カ月児と、発達の節目として大切な七カ月児の赤ちゃんを対象に、毎月一回ずつ市保健センターで育児相談会を行います。

母と子、母親同士のふれあいを中心に、離乳食作り・遊び・話し合いを行います。

一歳六カ月児・三歳児健診

市保健センターで月一回ずつ個人通知をして実施します。

保健所の役割

は未熟児や障害児、難病などの子供の保健指導や特殊な検査

(神経芽細胞腫

や先天性代謝異常など)を実施することになります。

このように予防接種をはじめ、赤ちゃんの健診や相談・家庭訪問など身近なサービスの窓口が、市保健センターに変わります。電話での相談も受け付けますので、気軽に連絡してください。

地域と一体となって

取り組みます

先日、「もう今時の子育てはとでもできん。あまりにも時代が違いすぎて」と言うお



ばあちゃんに出会いました。確かに時代は大きく変わりましたが、子育ての本質に違いがあるとは考えられません。

育児は親や祖父母にとつての「育自」でもあります。親・家族・地域のふれあいの中で子育てをすることが大切です。

市保健センターでは、きめ細やかな母子保健サービスに努め、健康で安らぎのある親子の暮らしづくりに役立ちたいと考えています。

皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター (☎65・7333)

引っ越しでの トラブルを防ぐ

事前に計画を立てて
少しずつ準備しましょう

毎年、二月から四月は引っ越しの多い時期です。引っ越しの日があらかじめ決まっているのなら、事前に計画を立てて、毎日少しずつ準備すると効率的です。また、信頼できる業者を選ぶことが、上手に引っ越しをするための条件です。業者とよく話し合い、トラブルを未然に防ぎましょう。

段取りが肝心

引っ越しの良し悪しは、良い業者に依頼することでは決まります。業者から知識を聞き、十分なサービスを受けて上手に引っ越しをしたいものです。

引っ越しの日があらかじめ決まっていたら、事前に計画を立てて、毎日少しずつ準備することが望ましいでしょう。引っ越しの段取りは大きく分けて四つになります。

- ① 運送方法の決定。
- ② 役所、学校での手続き。
- ③ ガス、電気などの生活関連会社への連絡。
- ④ 荷造り。(冷蔵庫の水、石油ストーブなどの油は事前に抜いて荷造りします。新聞紙は包紙として意外に重宝です)

専門業者とは契約を

近ごろは家庭内に大型製品や高級家財が増えたこともあ

り、専門業者を利用することもあります。トラブルを避けるために必ず契約を結びましょう。

引っ越し業者には、仕事の進め方と料金、責任に関する「標準引越運送取約款」と呼ばれる定めがあります。この定められている料金規定の主な内容は次のとおりです。

- ① 見積もり費用は無料。
- ② 見積書に記載された額以外、支払義務は一切無し。
- ③ キャンセル料は、引っ越し予定日の前々日までは無料。前日キャンセルの場合には見積書にある運賃の十倍以内、当日の場合は二十倍以内。
- ④ 破損や紛失による損害は全額賠償。

複数見積もりで 信頼できる業者を

見積もりは通常一カ月前から受け付けます。少なくとも二〜三社から見積もりに来てもらい(無料)、料金・サービス・引っ越し補償などをよく



く検討しましょう。

ただし安ければよいというのでは困ります。必ず運輸省認可の正規業者(緑ナンバー)、できれば(社)全日本トラック協会加盟業者の中から選ぶと安心です。事前に協会に問い合わせてみましょう。

▼引越専門協同組合引っ越し
110番 ☎03・3256
・8110

▼(社)全日本トラック協会
輸送相談室 ☎03・532
3・7244

内金・手付金は不要

高額な物や貴重品などは、自分で運ばなくてはならないものもありますので、仕事の範囲の確認も大切です。

内金、手付金は不要です。見積もりのとき、ダンボールなどの無料サービスを勧められても業者を確定するまでは、受け取らないことが肝心です。断った場合に逆に引取料を請求されることもあります。

もしも傷、破損などのトラブルがあったときは現物を保存し写真を撮ってすぐ業者に連絡しましょう。申し出の期間は三カ月です。とりあえず荷物が着いたら、早めに荷物を解き、点検しましょう。

市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動、ふりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課 (☎66・1111)

今月のスナップ



お城も雪化粧

ぐるーぷ登場

上庄洋裁クラブ

にぎやかに楽しく洋服を手作り

上庄洋裁クラブは、昨年の九月に誕生したばかりの新しいサークルです。上庄公民館が三年間開催した洋裁講座に参加していた人が中心になっています。講座終了後、引き続き洋裁を勉強したいという気持ちが高く、講師にお願いして継続して指導してもらうことになりました。

会員は現在十三人いて、全員女性です。三十代から六十代まで幅広い年齢層の集まりです。初心者も多かったです。今では皆上手にミシンがけまでこなします。

月に四回くらい上庄公民館に集まり、それぞれの作品作りに励んでいます。作品はスカートからブラウス、ズボンなどですが、本格的に礼服用りに挑戦する人もいます。

昨年は初めて市の文化祭に

も出品しました。

洋裁の喜びは、完成品を自分で着てみて、思い通りに出来上がった時が最高です。もちろん毎回思い通りにはいきません。また既製品を買った方が、材料費より安くつくこともあり

ます。しかし、自分で作った洋服には愛着があり、他の物には代えられないと言います。会の代表の権守よしをさん(平沢)は「皆さん洋裁が好きな人ばかりなので、毎回来しくやっています。明るい人が多くいつも笑いが絶えません。洋裁の話だけでなく、料理や地域の話などとして意見交換の場所になっています。このような楽

しい雰囲気を作ってくれる講師の先生には感謝しています」と教えてくれました。現在会員を募集中とのこと。参加してみたい人は、上庄公民館(☎64・1200)まで。



「木を植えた男」

…人びとのことを広く深く思いやる、すぐれた人格者の行いは、長い年月をかけて見定めて、はじめてそれと知られるもの。名譽も報酬も認めないまことにおくゆかしいその行いは、いつか必ず、見るもたしかなあかしを、地上にしるし、のちの世の人びとにあまねく恵みをほどこすもの…でこの本は始まりです。

フランスのプロバンス地方の荒野で、一人の男が三十数年に渡り、その肉体と精神が限界に至るまで、木を植え続け、荒れ果てた地を豊かな地としてよみがえらせた話です。男の名は、エルゼアール・ブフィ



工。かつては農場を持ち家族と暮らしていましたが、突然一人息子と妻を失いました。そこで彼は世間から身を引き、孤独の世界にこもり、ゆつくり歩む人生を始めました。そして何か人のためになる仕事をしたくなり思い立ったのが、水の無い不毛の地に生命の種を植え付ける事だったのです。

読んでいくと、ブフィエが、一つひとつのドングリを丁寧に植え付けたように、静かにゆつくりと、決して押し付けがましくない、それでいて力強いメッセージを感じます。自分が何をしなければならぬか悩んでいる人、何をやっていけるんだろうと落ち込んでいる人に、特にお勧めの一冊です。問合せ先 市図書館(☎65・5500)まで



『木を植えた男』

ジャン・ジオノ 原作 寺岡 襄 訳
フレデリック・バック 絵
あすなろ書房



うんたちは

学校医を60年務め文部大臣表彰

尾山 弘

さん(85歳・明倫町・歯科医師)

尾山さんは、歯科医師として学校医を六十年間務めた功績を認められ、昨年の十一月

二十一日に文部大臣表彰を受

けました。昭和十一年に大野市で開業して以来、ずっと学校医を務めてきました。今でも歯科医師として現役ですが、さすがに同年代の医師は少なくなつたと言います。尾山さんは現在も有終西小学校の学校医を務めています。昔は虫歯になつても、歯科医にかかることが少なかったもので、ひどく悪い歯の子供が多かったそうです。今は甘い

物が多くなつて虫歯の子供も多くなりますが、親の歯磨き指導が行き届いていたり、すぐに治療したりするので、ひどい虫歯の子供はいないのとです。尾山さんは昔を振り返り、「一生懸命で知らぬ間に六十年たつてしまいました。戦中、自転車で各地の青年学校へ回診に行き、特に阪谷へ行くのは大変でした。戦後すぐに有終西小学校が、虫歯の無い学校として全国に紹介され、有名になつたことがよい思い出です。体の続く限り、現役で頑張りたいと思います」とまますますお元気で。

投稿規定
市政についての質問や意見などを、ハガキでお寄せください。「住所・氏名・年齢・電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが、住所・氏名のないものは採用できません。原文を一部要約することがあります。あて先は、「912 大野市天神町一」市役所秘書広報課広報広聴係」です。



また、三月から大野公民館で水墨画講座を開催します。申込・問合せ先 墨友会代表 斉藤青風さん(☎66・0454) または事務局南部太郎さん(☎66・5754)まで

白いつえは、目の不自由な人の目です。白いつえを持つた人を見掛けたら、いつでもどこでもぜひ気軽に勇気を出して、一声掛けてくださるようお願いいたします。そのことが目の不自由な人に大きな安心感をもたらすのですから。目の不自由な人の中には、不幸にして生まれつき不自由な人もいらつしやるでしょうし、人生途中で病気や事故で不自由になられた人も決して少なくはありません。しかし、それぞれ視覚障害

私もひとごと

白いつえは目の不自由な人の目

者は与えられた運命に負けることなく、人生再出発の道を歩んでいる人がほとんどなのです。私も視覚障害者の一人として頑張つて生きています。それでも障害者の努力だけでは、十分とはいえないのが現状です。

あなたの町の目の不自由な人も、あなたと同じように歩き、学び、働き、住むことを望んでいます。悲しいけれども、目の不自由な人はいつの

時代にも一定の割合で社会に生きています。健康者と障害者が相互に助



け合い、支え合う福祉社会が望まれています。どんなに社会や人の考えが変わろうとも、一人ひとりが健康で思いやりのある心を持たなければ、皆の幸せはありません。白いつえは目の不自由な人の大切な目です。このつえを見掛けたら、どうか温かい一言をお願いします。(大和町 竹内紀子)

お知らせ

● 水墨画を始めてみませんか

水墨画は、いうまでもなく紙・墨のみを素材にしたもので、格調高く精神性を重んじる東洋独特の芸術です。墨の濃淡・にじみ・ぼかしなどの単純な現象が、複雑に調和を生み出します。

私たち「墨友会」は、水墨画を愛し共に学習する趣味の会です。公民館講座、自然観賞、写生会、水墨画展、市の芸術行事への参加など数々の事業を実施しています。皆さん、私たちの会に参加してみませんか。

春を迎える小判つり こぶし組が元町会館飾り付け

昨年から大野の町に人力車を走らせ、観光PRに励んでいる「越前こぶし組」のメンバーが、発着場として利用している元町会館の大掃除と縁起物の小判つりを12月28日に行いました。日ごろから会館を利用させてもらっているお礼にと、メンバーが自発的に行ったものです。大掃除の後、約2本のミズキの枝にウエハース製の小判や繭玉、「商売繁盛」、「交通安全」など書いた短冊を付けた迎春用の飾りを二つ作り、天井からつるしました。



地元企業で頑張って 29人に就職奨励金を交付

市は、12月26日に有終会館で「地元企業就職奨励会」を開き、Uターンなどで市内の企業に就職した若年労働者に就職奨励金を贈りました。地元企業就職奨励金制度は、若者の地元定着を促進しようと、市が平成2年に始めたものです。出席者を代表して出口大造さん（糸魚町）が「奨励金は地元就職者への期待の表れだと思います。期待にこたえられるように頑張りたい」と答えました。続いて越前こぶし組の横井一博番頭が「人力車が走るまで」と題して講演を行いました。

雪の六呂師で伸び伸び カントリースクールin大野

自然を通じた教育を実践しているボランティア団体のOASIS協会による「WINTERカントリースクール'97 in 大野」が1月5日から7日まで、六呂師高原で開かれました。同協会の本部がある旧六呂師小学校を拠点にして、冬の奥越の自然に親しんでもらうことが目的です。大野市・勝山市を中心に約二十人の小学生が集まりました。屋外でのかんじき歩行やスノーモービルの運転にも挑戦。夜はもちつき大会や古代の火おこしも行うなどして、奥越の冬を満喫していました。



話題の広場

話題の広場

決意も新たに「新成人のつどい」



1月15日、成人を祝う「新成人のつどい」が文化会館で開かれました。今年市内で大人の仲間入りをしたのは537人。この季節には珍しく、時折晴れ間が広がる穏やかな天候に恵まれ、会場は晴れ着やスーツで着飾った新成人であふれ、友人たちとの久しぶりの再会を楽しんでいました。アトラクションでは、新成人の小・中・高校時代の映像や昨年発表された歩っ歩の会の自主映画「スタート」が流れる中、祥雲太鼓

と地元ロックバンドのB-styleが共演しました。引き続いて式典では会場から30人がステージに上がり、大野のことについて質問を受けたり、自分たちの夢について話したりしました。最後に新成人を代表して小林仁一郎さん（坂戸）が誓いのことばを述べた後、宇野加寿美さん（明倫町）に合わせ、参加者全員で市民憲章を唱和して、成人の決意を新たにしました。

身近な話題をお知らせください。

お知らせ 2月



上庄の里芋を

テレビ講座で紹介

上庄の里芋を題材にしたテレビ番組が放映されます。番組名は、福井ライフ・アカデミーテレビ講座「ふるさと福井 豊かな食の工夫」です。ぜひご覧ください。

日時 2月8日(土)午後3時30分～4時

放送会社 FBC福井放送
内容 七間通りでの朝市の様子・里芋収穫風景・上庄里芋がおいしい訳・里芋料理のフルコース

●冬季間のごみ集積所

住みよい生活環境と街づくりのため、ごみ排出について次のことにご協力ください。

- ①「ごみ」の収集作業がしやすいように、集積所周辺と扉前の「除雪」をお願いします。
- ②集積所への前日排出が相当見受けられます。「ごみ」

は必ず指定日の朝8時までに出してください。

- ③集積所は「ごみ」捨て場ではなく、私たちの台所の一部です。よりよい生活環境づくりのため良識ある「排出マナー」を守りましょう
- ④「粗大ごみ」は、業者に引き取ってもらうか、直接、クリーンセンターへ持ち込んでください。

問合せ先 市クリーンセンター
1(☎65・6120)まで

●油の流出防止に

ご協力を

水質汚濁防止法改正により、油を流出させてしまった場合、直ちに油の排出や地下浸透を防止するための応急措置をとり、県へ届け出なければならぬことになりました。

ポイラー用や暖房用のタンクなどがあれば小規模事業所でも規制の対象になります。事業所だけでなく、家庭でも油を河川などに排出させることや地下浸透させることが

ないよう、十分に注意してください。

詳しくは、市役所生活環境課(☎66・1111内線465)まで。

●中高齢者向けの

ワープロ講座

中・高齢者の人にゆつくりとワープロの基礎を習得してもらう講座です。

日時 3月4日(火)～7日(金)・11日(火)～14日(金)・18日(火)・19日(水)午前9時～11時30分

場所 職業訓練センター
内容 簡単な文書と表の作成
定員 先着10人
受講料 5000円

申込・問合せ先 大野地域職業訓練センター(☎65・6840)まで

●壮年の奥越ブロック

リーダー研修会

大野市壮年団体連絡協議会・勝山市壮年連絡協議会では、壮年団体の資質向上を目指して研修会を開催します。

当日はいくつかのテーマについて、奥越という視点に立って壮年が地域に果たす役割を考えます。

会員以外の参加も可能ですので、ぜひご参加ください。
日時 2月26日(水)午後7時～
場所 有終会館三階
締切 2月15日(金)



市議会が「シートベルト着用日本一・大野」運動を決議

交通事故の無い安全で住みよい大野を目指すため、人命保護に極めて有効なシートベルトの着用運動を展開し、交通事故から市民の尊い生命を守ることを目的に、「シートベルト着用日本一・大野」運動を市民と共に強力に展開することが、十二月定例市議会で決議されました。

県内における昨年一年間の交通事故による死者は百
申込・問合せ先 市教育委員会
社会教育課(☎66・1111内線542)まで

●流雪溝はルールを

守るべし利用ください

除雪や屋根雪下ろしが一斉に始まると、市内の中小河川や流雪溝は雪で埋まってしまい、床上、床下浸水などの原因になります。

- これらを防ぐために、次のことを守ってください。
- ▼機械で一度に投雪しない
- ▼流れのない水路には投雪しない
- ▼投雪口には目印をする

六人と昨年に比べ十五人増と、平成四年からの減少傾向が四年ぶりに増加に転じました。

死亡事故で特徴的なことは、車両乗車中に死亡した五十三人のうち、シートベルトを着用していたのはわずか六人ということでした。

着用していたら二十二人の命が助かったと分析されています。シートベルトの着用が人命保護に極めて有効であることを示しています。

今一度、職場や家庭において、シートベルト着用の必要性を認識し、シートベルト着用率百%達成を目指し、市民一丸となって取り組みましょう。

年賀はがきデザインコンクール 入賞作品決まる

大野公民館が募集していた第40回年賀はがきデザインコンクールの審査が1月17日に行われ、入賞作品が決まりました。

今年は743人の方から応募があり、作品総数は862点になりました。

各部門の最優秀賞に選ばれたのは次の方々の作品です。

★小学校低学年の部
松田千恵美さん(小山小2年)

★小学校高学年の部
高津 久代さん(小山小6年)

★中学生の部
長谷川恵里さん(陽明中1年)

★一般の部
松田 善行さん(下掘)

入賞作品は、2月1日・2日に大野公民館、2月4日から13日まで図書館で展示しますので、ぜひご覧ください。



小学校低学年の部
松田千恵美さんの作品



小学校高学年の部
高津久代さんの作品

●赤十字が講習会 「家庭での看護方法」

赤十字奉仕団では、家庭でだれにでもできる看護の方法について講習会を開催します。気軽に参加ください。

日時 2月18日(水)・19日(木)・

20日(金)午前10時～午後4時
会場 市役所大会議室

対象 3日間通して参加できる人(性別・年齢は不問)
講師 日本赤十字社福井県支

部 高村美智子さん
受講料 350円(テキスト代)

定員 先着30人

申込期限 2月14日(金)

申込・問合せ先 市福祉課社

会福祉係(☎66・1111

内線472)まで

●国民年金保険料の 申告をお忘れなく

大野税務署では、平成8年分の所得税の確定申告を2月

17日から3月17日まで受け付けます。この際、平成8年1月から平成8年12月までに支払った国民年金保険料は、全額「社会保険料控除」の対象となります。

申告に当たっては、自分の年金保険料はもちろん、生計を同じにする家族のために納めた分も申告してください。

平成8年中に納めた過年度の年金保険料も申告対象となりますので、お忘れのないよ

うに。

平成8年中の月額国民年金保険料は1月から3月までが月額1万1700円(付加加入は1万2100円)、4月から12月までは、月額1万2300円(付加加入は1万2700円)です。全期前納した場合、定額で14万4040円(付加加入は14万8720円)になります。半年前納した場合は、定額で7万2980円(付加加入は7万5350円)です。

●ふるさと情報定期便 申込を受付中

市では、市外に住む大野出身者を対象に「広報おの」を毎月無料でお送りしています。この制度は、「ふるさと情報定期便」として、大野市の情報をお届けするものです。申し込みは簡単にできます。

なお大野市についてのアンケートに年に一度、答えていただきます。

ぜひ、ご利用ください。

申込先 市役所秘書広報課広

報広聴係(〒912大野市

天神町1-1 ☎077

9・66・1111内線441)まで

平成8年度奥越地区 ふるさとづくり大会

「学びあい・ふれあい・創ろうわがまちを」のスローガンの下に展開した、この一年間のふるさとづくり運動の発表を行います。

大会では、実践活動モデル地区によるディスカッションや、奥越のふるさと料理を楽しんでいただく企画などが行われます。

一般の参加も歓迎しますので、ぜひご参加ください。

日時 2月16日(土)午後1時～4時30分

場所 有終会館三階

主催 美しい奥越を創る協会

(社)あすの福井県を創る

協会

参加団体(大野市関係のみ)

モデル地区ディスカッション

中掘村づくり連絡協議

会・春日二丁目東区

アトラクション水無月会

表彰(大野市関係のみ)

優良実践者玉木郁夫さん

(阿難祖地頭方)・松田

仁左衛門さん(下掘)

優良実践団体下庄をよく

する会・有明町

広報紙コンクール下庄し

るべ(下庄をよくする会)

JAおの(大野市農業

協同組合)

市民のうごき

	1月1日現在	前月比
世帯数	11,506世帯	△1世帯
人口	41,394人	3人
内訳	男	8人
	女	△5人
12月中の異動	転入	50人
	転出	45人
	出生	28人
	死亡	30人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成8年 12月末	平成7年 12月末	比較
総件数	526件	554件	△28件
人身事故	件数	143件	△29件
	死者	2人	0人
	傷者	187人	△32人
物損事故	383件	382件	1件

表紙のいじり
一月七日「21世紀に飛翔く児童生徒育成事業」の一ツ、中学生子供議会が市議会議場で開かれました。市内の中学生三十人が参加し、教育・福祉・産業経済・環境の四部会に分かれて質問。市長や・助役・各部長は、生徒たちの真剣な質問に丁寧な答えを返していました。

編集後記
一月中旬まで冬とは思えない穏やかな日が続き雪も少なめ。おかげで雪下ろしの必要もなく、井戸枯れの心配もありませんでした。でも冬の大野といえ、やはりスキー場と「雪」のイベント。生活に支障が無く、楽しめる程度だけ降ればよいですね。



古いスキーファンの中には、城町の滝永治さん(67歳)の名前を覚えている人も多いのではないだろうか。滝永さんの宝は、中部日本スキー大会の二つのメダルです。

26 中日スキーの二つのメダル

滝永 治さん(城町)
初めての優勝を飾りました。もう一つの宝は、昭和五十三年に最後のつもりで出場した岐阜県の中日大会の大回転三位の銅メダルです。三十五歳以上の部に四十八歳で出場しての快挙。表彰式で高松宮から、「毎年よく頑張っていますね」と声をかけられ、よい思い出になりました。滝永さんは中日大会の五回優勝や国

に入れませんでした。選手の一人が都合が悪くなり、急きよ代わりで出場したとのこと。一本目は三位につけましたが、二本目は霧が濃く順位を落としてしまいました。それでも初出場だったこともあり、大変感激したことです。その後、昭和三十六年に石川県で開かれた大会では、他県の有力選手を抑えてアルペンの成年男子で

体の五位入賞など輝かしい成績を残しています。でもその裏では十七年間、城町の自宅から花山峠までの早朝のランニングを欠かしていません。 「現役のときは、やればできるんだという気持ちで努力を続け、毎年少しずつでも成績を伸ばそうとしました。この二つのメダルをはじめ数ある賞を取れたのは、自分の努力のあかしであり、協力してくれた家族や関係者のおかげです」と振り返ります。



乗降客で込み合う年始めの福井駅のホームで、女の人が少年を乗せた車いすを押し、彼を背負って止まり、彼を背負

乗降客で込み合う年始めの福井駅のホームで、女の人が少年を乗せた車いすを押し、彼を背負って止まり、彼を背負った▼そのとき横から二人の娘さんが駆け寄って、車いすを折り畳んだ。二人は女の人の荷物を持ち、付き添うように階段を上り下りして二番ホームまで来た。そして少年が駅員さんに抱えられて列車に乗り込むまで見送っていた▼その後、偶然下りの越美北線で彼女たちと一緒に乗った。車内での彼女たちはファッション雑誌を広げて、「ヘアスタイルがどうの」「スカーフがどうの」と声を立てて笑いながら終点に着くまで、おしゃべりに夢中だった▼「このごろの若いもんは、何を考えているかわからん。けつたいな服を着たり、オウムに入ったり、訳の分からん言葉を使ったり、テレビの中の若者を見るとうんざりする」という人もいる。しかしホームでの彼女たちを見て、「いい娘がまだまだいる」と思った▼一月にロシアタンカーの石油流出事故が起きたとき、ボランティアの若者たちが油泥まみれで回収作業をしている映像に心を打たれた。これもふだんの心優しさが大事のときに大きな親切となった出来事だろう▼若者たちは時に、訳の分からないギャル言葉で騒いだり、だらしないファッションで大人を戸惑わせることもある。しかしボランティア活動をしたり、困っている人の痛みを知って行動したりする若者が大野にはたくさんいるに違いない。(H)